

1 本年度の重点事項

<ul style="list-style-type: none"> ○ 確かな学力の育成(学習習慣の定着, 分かる授業) ○ 心の教育の充実(道徳の時間の授業及び読書活動の改善) ○ 体力の向上と健康・安全の充実(一校一運動と危険予知能力の育成) ○ 特別支援教育の充実(合理的配慮の推進と校内体制の充実) ○ 信頼される開かれた学校づくり(ホームページの定期更新及び情報の共有・共通実践)

2 評価と改善方策案

	評価項目	学校関係者による評価と改善方策 ○…評価 ◆…改善方策案
確かな学力	1 達成目標の設定により、基礎学力を確実に身に付けさせているか。 2 学習の基本的なしつけや発表話型、ノート指導等が共通実践され学び合い(ペア、小集団)やICTの活用、T・Tや少人数指導等の学習指導法の改善に努めているか。 3 特別支援教育の充実に努めているか。 4 学びの動機付けとして様々な専門家や外部講師との出会いの設定や交流に努めているか。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校関係者を対象に実施したアンケート(以下、アンケート)の「子供たちの基礎学力を確実に身に付けさせているか」の平均が3.5であったこと及び学校評議員会時の授業参観の感想として「高学年を中心に落ち着いて学習に取り組んでいる。」等から、本校の学力向上の取組を評価していただいていることが伺える。 ○ アンケートの「学び合いやICTの活用、少人数指導の工夫等指導法の改善に努めているか」の平均が4であることから、本校の指導法改善の取組を評価していただく。 ◆ 次年度も学力が中位・下位層の子供を伸ばす個に応じた指導の工夫を通して、学力向上の取組のさらなる充実に努める。 ○ 学校評議員会時の説明において、本校が高学年の家庭科や生活科において学校支援ボランティアの活用を推進していることに満足している様子が伺えた。
心豊かな子ども	1 道徳の時間の授業改善や充実に努めているか。 2 人権教育の充実に努めているか。 3 いじめの早期発見、早期対応や不登校対策の充実に努めているか。 4 勤労・奉仕の心を持ち社会参加活動や朝のボランティア活動等に取り組む子どもを育てているか。 5 本好きな子どもを育てているか。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校で、運動会の練習や朝のボランティア活動等、子供たちが目的があると、登校時刻も早い傾向にあるように思える。 ◆ 不登校対策の一環として、キャッチフレーズの「元気に登校 笑顔で下校」の具現化に努めていく。 ○ アンケートの「本好きな子供を育てているか」の平均が3.5であった。また、本校の1年間の平均貸出冊数が100冊を超えていることを評価していただいた。
たくましい子ども	1 自分で計画的に、心と体を鍛える子どもを育てているか。 (教科体育の充実・体力づくりの日常化) 2 健康教育の充実に努めているか。 (早寝・早起き・朝ご飯、養護教諭等とのT・T指導や食物アレルギー対応の充実) 3 自分の命や健康は、自分で守る子どもを育てているか。 (実践的な避難訓練、交通教室等の実施、薬物乱用防止教育・がん教育等の出前授業の実施)	<ul style="list-style-type: none"> ○ スポーツ少年団に加入する子供が減っていると聞いて、大変寂しく思っているとの感想があった。 ◆ スポーツ少年団の取組をPTA新聞等でも地域の方々に情報発信していけるよう保護者との連携の充実を図る。 ○ 保護者アンケートの結果から、朝食をしっかり摂る子供の割合が増えているのは大変よいことだと思う。 ◆ 子供たちに朝の力として「早寝・早起き・朝ご飯」が大切であることを学級PTA・学校保健委員会等を活用して、さらなる保護者啓発を図る。

3 次年度に向けての指導

- 「確かな学力」では、タブレット端末の「デジタルドリルナビマ」を活用し、子供たちが学校だけでなく、家庭でも良問に触れることでさらなる学力向上の取組の充実に図る。
- 「確かな学力」では、学力が中位・下位層の子供の底上げを図るために、ICTを活用したよりきめ細やかな学習指導の充実に図る。
- 「心豊かな子ども」では、来年度鹿児島市の人権教育研修会の会場校として、全教育活動を通して、意図的・計画的な人権教育を推進する。(全学年における人権教室の開催等)
- 「心豊かな子ども」では、「学校が楽しい。」と感じる子供が増えるように、朝のボランティア活動や体力・気力づくりの取組の充実に図る。